

令和 5 年度 第 2 回磐田市男女共同参画審議会 摘録

日 時	令和5年 12 月 14 日(木)午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分
場 所	磐田市役所本庁舎4階 大会議室
出席委員	委員 11 名 鈴木まり子、永野涼子、佐野恵三、永井新次、藤森新五、久永公子、杉浦 直、夏目裕子、西藤正江、松野裕貴、石田真之介 ※敬称略
事 務 局	ダイバーシティ推進室長、担当 2 名

[会議概要摘録]

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

(1) 「女性の暴力をなくす運動期間」における啓発活動

資料 1

(意見)

- ・今之浦公園でパープルライトアップする際に意味を示すとより効果があると思う。
- ・年間のライトアップ予定表と、ライトアップの色の意味の伝達をすると良い。
- ・女性が被害者で男性が加害者とは限らない。事務局側も、固定概念を取り払って取り組む必要がある。

(2) 性の多様性に関する当事者を招いた講演会の報告

資料 2

(3) 夏休み親子講座「性といのちの大切さ」講座の報告

資料 3

(意見)

- ・小学校低学年だけでなく、小学校高学年や中学生に対しても開催すると良い。

(4) 「にこっと」での性教育講座について

資料 4

(5) 磐田市の男性育児休暇取得推進の取組みについて

資料 5

(意見)

- ・自社で男性育休の取得事例を社内で広報した。すると男性育休の取得率がかなり伸びた。小さなことだが、継続してやる意味があると思う。
- ・奥さんからのコメントを掲載するのはどうか。

4 協議事項

(1) 無意識の思い込み理解のための市民啓発の取組(案)について

資料 6

(意見)

①市民向け講座

- ・対象者は、まずはアンコンシャスバイアスが存在することで、困っている人や悩んでいる人を対象にした方が良い。
- ・バイアスについて意識が低い企業・自治会等をターゲットにした方がいい。
- ・交流センターで開催している別の講座のイントロダクションとして啓発する。
- ・若い世代に集ってもらい、ワークショップ的なもので資料をまとめてもらう。その資料を使っていろんな団体等に伝えていく。その方がバイアスの意識が高まると思う。

②職員向け講座

- ・職員の対象を正規職員のみではなく非正規職員まで広げることで啓発年代も広がる。
- ・とにかく回数を重ねて実施することが大切。
- ・若手職員との意識のギャップを相互に体感することも大切。あえてどちらの層も対象として、事例について意見交換させると良い。

5 連絡事項

6 閉会